

新潟県 阿賀野市 移住ガイド

新潟駅まで
車で30分!

ゆったり
暮らせる!

五頭山 ござさん

5つの峰をもっていることが由来。
日常的に登山が楽しめる。
市内のどこからでも見ることができる。

五頭連峰を背に、美しい田園風景が広がる阿賀野市。県都新潟市へ通勤圏内でありながら地価が低く、子育て支援も充実しています。自然がいっぱい、暮らしの楽しみがいっぱいの阿賀野市へ、ぜひお越しください。

まずは来てみて
ほしいっしょ!

ござっちょ

阿賀野市のイメージキャラクター。
五頭山と白鳥をイメージして誕生。
facebook「ござっちょ」発信中。



暮らしのつよ

「五頭山が見えるまち」で

移住に向けた情報収集



U・ターン総合サイト「にいがた暮らし」
各種イベントや、求人情報、移住体験談など、県内への移住に関する情報を発信しています。
[URL] <http://niigatakurashi.com/>



表参道オフィス(東京都渋谷区)
新潟県のアンテナショップ「ネスパス」の2階にあり、相談員のサポートを受けられます。
[URL] <https://www.nico.or.jp/nospace/2021/04/01/4613/>



有楽町オフィス(東京都千代田区)
東京交通会館8階「ふるさと回帰支援センター」にあり、相談員のサポートを受けられます。
[URL] <https://www.furusatokaiki.net/consultation/niigata/>



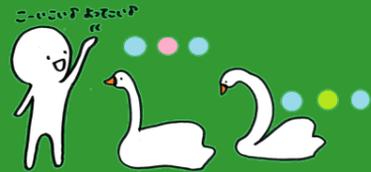
新潟県U・ターンコンシェルジュ (新潟県新潟市、東京都千代田区)
転職のプロがU・ターンをサポートします。
[URL] <http://www.niigata-uitc.com/>

シティプロモーションサイト【あがのライフ】
移住に関する情報発信を行っています。各種支援一覧なども紹介しています。
[URL] <https://www.city.agano.niigata.jp/ijuu/index.html>



阿賀野市役所 総務部 企画財政課 企画係

〒959-2092 新潟県阿賀野市岡山町10-15
[電話] 0250-62-2510 (内線2242)
[メール] kikaku@city.agano.niigata.jp
[URL] <http://www.city.agano.niigata.jp>



阿賀野市の子育てサポート

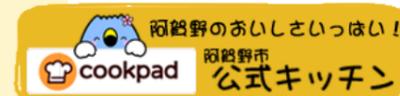
子育て環境日本一のまちづくりを目指して、子育て支援の充実や、魅力ある学校で楽しく学べる環境の整備に取り組んでいます。



子ども見守りメール配信サービス
市内の小中学校、児童クラブに、端末機を設置しています。端末機にカードをタッチすることで登録した方にメールが配信されます。



子育て応援カード
満15歳未満の子どもがいる保護者を対象に、市内の協賛店でカードを提示すると各種サービスの提供を受けられます。



クックパッド「阿賀野市公式キッチン」
市の管理栄養士監修のもと、地元の食材を使った美味しいメニューを考案しています。離乳食や学校給食の人気メニューも掲載しています。



子育て支援センター「にこにこ」
子育て支援の拠点施設として、雨や雪の日でも子供たちが安心して遊べ、保護者同士の交流もでき、子育て相談の場としても利用できます。



特定不妊治療費助成上乗せ
赤ちゃんが欲しいけれどもなかなか授からないご夫婦に、1治療当たり15万円を限度に、通算5回まで助成します(県の助成に上乗せ可)。

産前健診助成(15回目以降も対象)
妊婦健康診査を受診した場合、15回目以降の保健適用外の自己負担額についても上限額5,000円まで助成します。

妊産婦さんへの医療費助成
妊産婦が保険診療対象の医療機関を受診する際の自己負担額は、通院1回につき530円(月5回目以降は無料)、入院1日につき1,200円とします。



産後1ヶ月健診助成
産後1ヶ月に受ける母子の健診費用を助成します(健診以外の医療費等は対象外)。

紙おむつ費用・出産費用の助成
紙おむつの購入費として月額5,000円(助成期間:12か月間)を助成します。また40,000円の出産費用を助成します。

子ども医療費助成
高校卒業までの子どもが病気やけがをしたときの自己負担額は、入院費は無料、通院は1回につき530円(月5回目以降は無料)とします。

保育料の独自軽減(保育認定)
年収500万円以下の世帯の場合は、3人目以降の保育料を無料とします。市民税所得割額が57,700円未満の場合は、2人目の保育料を無料とします。

詳細は、「子育て支援サイト (<http://www.city.agano.niigata.jp/kosodate/index.html>)をご覧ください。



小学生の沢登り教室

自然体験で育てる！

子育て支援センター(8)、保育園(4)、認定こども園(13)、幼稚園(1)、小学校(8)、中学校(4)、高等学校(1)があります。(カ所) 県内でも唯一の市立の自然の家があり、登山や沢登りの機会が充実しています。



子育て支援センターの英語教室

英語教育も充実！

子育て支援センターでは、親子で遊びながら英語に触れられるイベントを毎月開催しています。公民館では、小学生から一般市民を対象とした英語塾を無料で開講し、人気の講座となっています。



あがの市民病院

頼りになる医療機関！

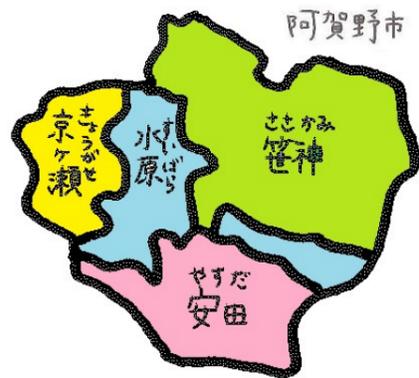
病院(2)、一般診療所(16)、歯科診療所(18)があります。(カ所) 地域医療の拠点となる「あがの市民病院」には、子育て支援センターが併設されており、病児保育や一時預かりを利用できます。



国道49号線

新潟駅も通勤圏内！

新潟駅まで車で30分とアクセスがよく、県都新潟市への通勤・通学割合は近隣市町村No.1です。駅はJR羽越本線の京ヶ瀬駅、水原駅、神山駅の3カ所。路線バス、高速バスも運行しています。



住宅地と消雪パイプ



スーパーの産直野菜売り場

暮らし方が選べる！

平成16年度に2町2村(安田町、京ヶ瀬村、水原町、笹神村)が合併して「阿賀野市」が誕生しました。地区毎に特色があり、自分に合った暮らしが見つかります。

ゆったりと暮らせる！

人口は約4万1千人、総面積は約190km²(東西約20km、南北約15km)です。東京都八王子市とほぼ同じ面積ですが、人口密度は約14分の1、ゆったり暮らしています。

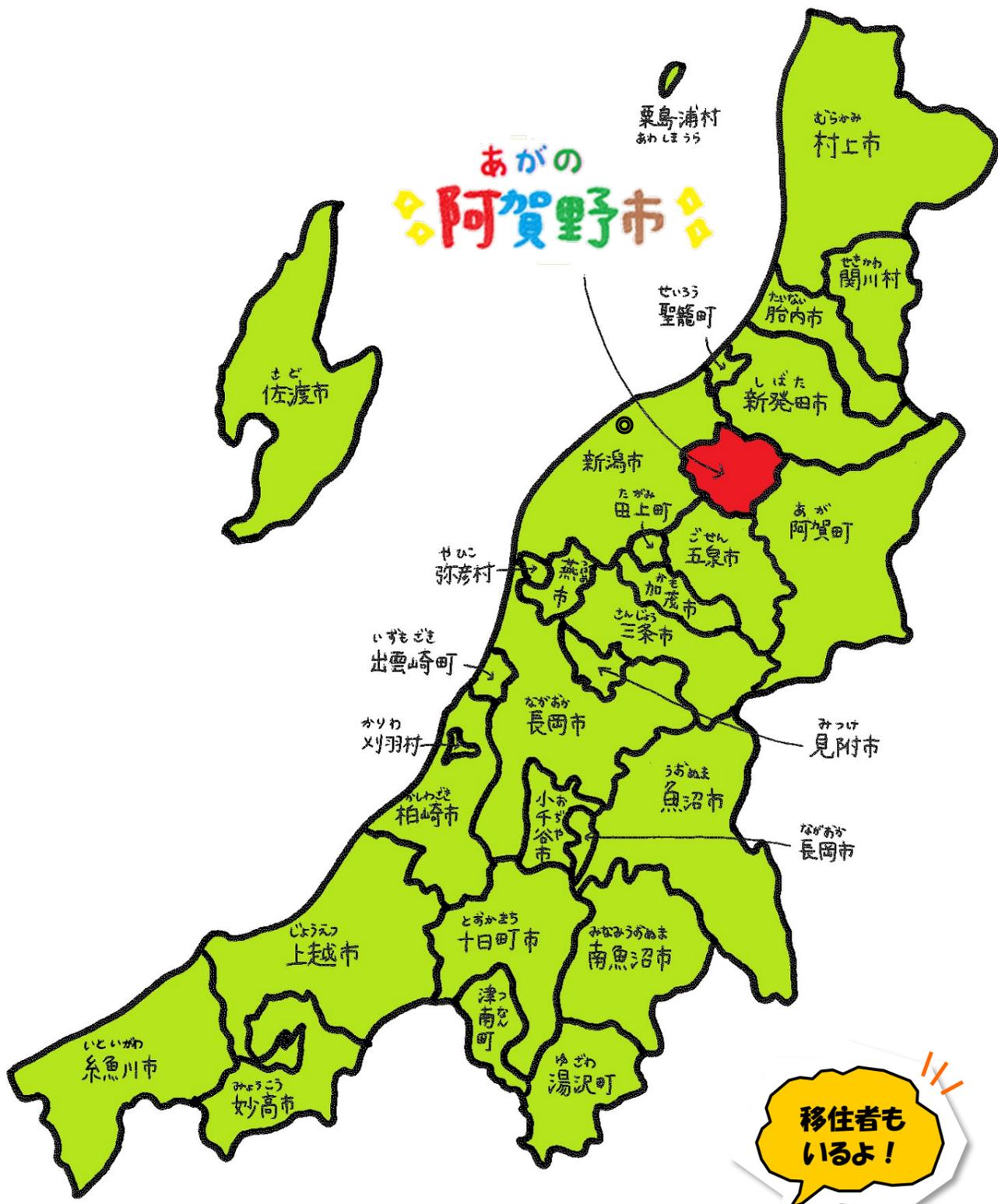
広い家に住める！

住宅地の土地平均価格は、東京都八王子市の約9分の1、県都新潟市の約3分の1と低く、住宅取得費の助成もあります(最高100万円)。小雪なうえ、住宅地の道路には消雪パイプが整備されています。

地場産食材が充実！

商店街、スーパー、ホームセンターなどがあり、日用品の購入には困りません。地場産の食材にこだわった飲食店や、地元農家の直売所が充実しています。

阿賀野市での暮らしをイメージしよう



移住体験談を読んでみよう！ 県のU・Iターン総合サイト「にいがた暮らし」では、阿賀野市へ移住した人の体験談を紹介しています。